

種名	ニホンカナヘビ <u>Takydromus tachydromoides</u> 
分類	有鱗目カナヘビ科カナヘビ属
俗称	カナチョロ
形態的な特徴	からだは細長く、長い尾を持ち、長さは16～25㎝。背がわに、かさかさしたウロコを持っている。つかまえようとすると自分で尾を切り(自切と呼ぶ)逃げる。尾はまた再生してくる。体色は褐色。
分布	沖縄を除く日本全土に分布する。
繁殖行動	5～8月ころ、1尾のメスが1年に3回ほど産卵し、1回に3～5個の楕円球のような形の白い卵を産む。繁殖期のメスには、ときどきオスに咬まれた(愛咬)の跡が、脇腹に残っているのが見られる。
生息場所	平地や低い山地の草原、田畑、土手などにみられ、ニホントカゲとほとんど同じ場所に生活する。
食性	昆虫、クモ、ミズなどを食べる。
生息環境への配慮事項	
引用文献：新潟県陸水動物図鑑を改変	